月刊 月刊 グラフィックサービス　令和８年11月10日発行（毎月１回発行）通巻900号

GS グラフィックサービス

No.900
2026 11



有限会社センター写植印刷
代表取締役
棚木　敏彦 さん

令和7年度ジャグラ作品展
『THE WEDDING TIMES』
業務用印刷物部門 厚生労働大臣賞
日本新聞印刷株式会社

GS900号記念　アンケート
緊急特別企画第一弾!
～私にとってのジャグラ～

巻頭言　出逢いに感謝し、共に楽しむ
——有限会社センター写植印刷　棚木 敏彦
連載　松谷の突き抜けろ!SPACE-21
SPACE-21四国主催「第一回 藤田塾」開催
PM取得企業紹介　PM企業クローズアップ
——株式会社研美社　個人情報保護管理責任者　日笠 良昭
会員企業紹介　キラ星ジャグリスト
——株式会社 アクティブ　代表取締役社長　野口 聡
NEWSとお知らせ　日印産連　「2026 GP環境大賞等表彰式」開催
令和8年熊本地震被災地レポート

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

プライバシーマーク 審査機関(16)
UD FONT by MORISAWA
TOYO INK nonVOC

■巻頭言

出逢いに感謝し、共に楽しむ

有限会社センター写植印刷
日本グラフィックサービス工業会
福島県支部長　棚木 敏彦



はじめに、このたびの令和8年熊本地震、8月の千葉豪雨、そして以後各地で頻発する豪雨災害により、被害に遭われた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。東日本大震災、令和元年の東日本台風を経験している者として、決して他人事ではなく、ニュース等で被災地の様子を見る度、心を痛めております。被災地の一日も早い復旧と、そこで生活する皆様の安全で安心な生活が戻りますことを心よりお祈り申し上げます。

私は本年6月の定時総会において、福島県支部長を仰せつかりました、㈲センター写植印刷の棚木敏彦と申します。

福島県支部長のお話しは、伊東前支部長より数年前からいただいておりましたが、正直まだ私には務まらないと思っており、もう少し先の話しだと高を括っていましたら、年初の福島県印刷工業組合様と共催の新年の集いの席で、伊東前支部長が挨拶の際に私が支部長になることを発表され、受付業務を終えて席に戻ると、周囲の皆さんから支部長就任おめでとうと言われ、非常に困惑した事を覚えています。強力なリーダーシップと行動力で福島県支部を引っ張ってきた、伊東前支部長にはまだまだ及びませんが、「遠きに行くには必ず近きより」の気持ちで、伊東前支部長はじめ支部の諸先輩方からご指導、ご協力をいただきながら、一歩ずつ歩みを進めて行ければと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

私は昭和50年生まれの現在50歳です。福島県郡山市で生まれ育ちました。家族構成は妻、高校生の息子、中学生の娘の4人家族。名刺交換した際に、よく珍しい名字だねといわれる事が多いのですが、小さい時からずっと言われていたことだったので、今まであまり気にした事はありませんでしたが、数年前に子どもから、自分の名前の由来を調べるという学校の宿題があり、名前は私たちが付けたのですぐに答えることができましたが、名字については答えることが出来ず、子ども達も同じ名字の人と会った事がないと言うので、名字の事も調べることにしました。まずは両親に聞いてみると、郡山市内だと、棚木姓は4軒ぐらいで約20人、福島県内だと約500人で会津地方が一番多いようです。両親はそれ以上の事は分からず、親戚で棚木家のルーツを調べている方がいるとの事で話しを聞いてみると、石川県の方に棚木城というお城が有り、その近くにあった棚木村が名字の棚木のルーツではないか？　との事でした。その後、戦に負けて落ちぶれ、流れながれて会津若松にきたのが、我が家の祖先ではないかというのが親戚の方の話しでした。棚木城の事も聞いてみると、棚木左門が約450年前に築城、現在の所在は石川県鳳珠郡能登町宇出津遠島山公園内にあり、築城は、応仁の乱の頃の1467年～1469年とされています。特に能登国の海防に秀でた城とされ城下にある入り江には警備船が係留し常に戦に備えていたと云われています。天正5年（1577年）、本家畠山家の居城である七尾城が上杉謙信の侵攻を受け、棚木城も命運を共にしたと伝えられています。写真の棚木城の御朱印は、両親がいただいてきたものです。当時はコロナ禍ということもあり、行く事は出来ませんでしたが、私もいつか子ども達を連れて行ってみたいと思います。



最後に私のモットーは、『出逢いに感謝し、共に楽しむ』です。原田会長が掲げる、『新しい出会いを、新しい学びを、新しい仕事を、新しい挑戦を「ジャグラから始めよう！」』に通じるものがあると勝手に感じております。福島県支部の中でも小さい事業所の私にとって県の支部長職は、大きな挑戦です。当面の目標は支部の皆様にご指導をいただきながら、来年福島県で開催される東北地協総会をしっかりと計画・準備・設営をすること、そしてそれらの活動を通して福島県支部、東北地協各支部の活動が活発となり、その結果会員拡大に繋がればと思っております。私自身は微力かもしれませんが、無力ではないと信じて、福島県支部会員の為に活動して参ります。皆様のご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

Cover Person

月刊
グラフィックサービス
発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

GS No.900 2026 11

CONTENTS

■NEWSとお知らせ
10　第62年度・第四回理事会　議事録
12　本誌1月号　新年名刺広告大募集
20　**ジャグラBBへGO！**
23　**日印産連「2026GP環境大賞等表彰式」開催**
26　**令和８年熊本地震被災地レポート**
28　**業界の動き**
イベント／MIMAKIプリンティング・フェア2026
岩手県支部／第65回東北青年印刷人連絡協議会岩手大会
19　**雑学コラム㊼**
29　**事務局日誌と今後の予定**

■広告インデックス
13　JPA
14　ホリゾン・ジャパン㈱
15　富士フイルムグラフィックソリューションズ㈱
16　㈱モトヤ
17　㈱ショーワ
18　東京リスマチック㈱
19　㈱研美社
表4　リョービMHI グラフィックテクノロジー㈱

1　■巻頭言
出逢いに感謝し、共に楽しむ
日本グラフィックサービス工業会　福島県支部長
有限会社センター写植印刷　棚木 敏彦

2　■令和7年度ジャグラ作品展
『THE WEDDING TIMES』
業務用印刷物部門 厚生労働大臣賞
日本新聞印刷株式会社

4　■GS900号記念　アンケート
緊急特別企画第一弾！
～私にとってのジャグラ～

8　■プライバシーマーク取得企業紹介
株式会社研美社　個人情報保護管理責任者　日笠 良昭

22　■連載
松谷の突き抜けろ！SPACE-21
SPACE-21四国主催「第一回 藤田塾」開催

24　■会員企業紹介
キラ星ジャグリスト
――株式会社 アクティブ　代表取締役社長　野口 聡

【スタンプラリー当選者発表について】
当選者の発表は 11 月号とご案内しておりましたが、12 月号にて発表いたします。今しばらくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

月刊グラフィックサービス　発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概　要】

発行回数	月１回 / 年間 12 回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購 読 料	ジャグラ会員は無償（会費に含む） ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください
E メール edit@jagra.or.jp　　電話 03-3667-2271　　ファクス 03-3661-9006
お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16　〒103-0001 (一社) 日本グラフィックサービス工業会 宛

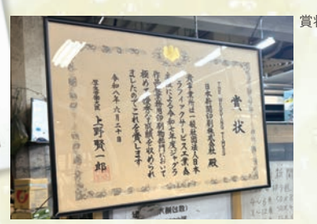
令和７年度
ジャグラ作品展

『THE WEDDING TIMES』
業務用印刷物部門
厚生労働大臣賞

日本新聞印刷株式会社　代表取締役社長　塚田 謙太



受賞作品



この度、私たち日本新聞印刷株式会社が制作したウェディング新聞「THE WEDDING TIMES」が、令和7年度ジャグラ作品展の業務用印刷物部門において厚生労働大臣賞を受賞いたしましたことを、大変光栄に受け止めております。今回このような評価をいただけたことは、私たちにとって大きな喜びであると同時に、印刷という情報を伝える仕事の持つ力と、ものづくりに向き合う姿勢の大切さをあらためて実感する機会となりました。受賞そのものも本当にありがたいことですが、私たちの中で特に印象深く残っているのは、この作品が生まれるまでの過程に、多くの思いと丁寧なやり取りが積み重なっていたことです。

今回受賞した「THE WEDDING TIMES」は、日頃より当社に出入りされていた取引先の営業の方のご結婚を祝福したいという思いから生まれた作品です。仕事をした内容をそのまま形にするのではなく、より良い見せ方を一緒に探っていく場面が多くありました。特に紙面の構成と写真の見え方にはこだわり、細かな部分についても確認と調整を重ねながら、少しずつ完成形に近づけていきました。私たち制作側としては、通常の案件以上に時間をかけて向き合う場面も多くありましたが、お二人はそれだけこの新聞を大切に思ってくださっていたのだと感じております。時には作業が深夜まで掛かったこともありましたが、その積み重ねがあったからこそ、表面的だけではない、お二人らしいあたたかさを持った紙面に仕上がったのではないかと思います。

私たちは普段から新聞印刷に携わる中で、商品となる新聞の表面的な美しい仕上がりを最も大切にしております。制作工程ならば新聞レイアウトのルールに基づいたきれいに整った紙面づくりを、印刷工程では使用している新聞専用のオフセット輪転機がかなり古いこともあり、色合


色の見当合わせ


新聞輪転機

通じて日常的に関わりのある方がご結婚されることに対して、私たち新聞印刷会社ならではの形でお祝いを届けたいという気持ちが、こちらの新聞をつくることの出発点でした。身近なご縁の中から自然に生まれた取り組みであったからこそ、私たち自身も本作品に対して強い思いを持って向き合うことができました。そしてこれは私たちが新聞の印刷をするということにおいて一番大切にしなければならないことでもあるのですが、手に取ってくれた方の心に長く残る紙面にしたいという気持ちで、制作を進めてまいりました。

この作品づくりにおいて、特に印象に残っているのは、当事者のお二人が紙面づくりをとても大切に考えてくださっていたことです。掲載する内容の見せ方、文章の選び方、写真の大きさや配置、紙面全体の雰囲気にいたるまで、一つひとつに丁寧なお考えがあり、お二人にとって本当に納得のいく形にしたいというお気持ちが強く伝わってきました。その思いは細部にまで行き届いており、私たちとしても、その気持ちをどうすれば紙面としてふさわしく表現できるかを、何度も考えながら制作を進めました。表面的に華やかなだけではなく、お二人らしさや、あたたかな雰囲気がきちんと伝わる紙面にしたいという方向性が、制作全体を通して一貫していたように思います。

実際の制作の場面では、私たちが提案

わせのための見当の調整やインクを盛る量の調整、紙面を汚さないための水の調整などに気を配りながら、お客様の満足がいく品質の新聞をつくってまいりました。それが新聞印刷会社の本来のあるべき姿ともいえるのですが、新聞社であるお客様からの要望に十中八九応えるスタイルを基本として印刷の仕事に臨んできました。しかし今回のウェディング新聞の制作では、それらの技術的な完成度だけではなく、お二人がこの紙面にどのような思いを託しているのかを、どこまで丁寧に受け止められるかが大きな鍵となりました。実際に印刷をするまでに時間も手間も要しましたが、その過程そのものが作品の質を高め、最終的な完成度につながっていったように感じています。

新聞という媒体には、単に情報を並べるだけではなく、人の想いや時間の流れを一つの物語として伝える力があります。今回の「THE WEDDING TIMES」では、その新聞らしさを活かしつつ、新たな門出をどう表現するかが大きなテーマでした。紙面を開いたときに、そこに込められた想いや、お二人を取り巻くあたたかな空気まで感じていただけるような内容にしたいと考え、何度も校正を重ねました。

制作を進める中ではもちろん結婚式に間に合わせるための期限もありましたし、どこまでご本人たちの希望を反映し、どこで紙面全体のまとまりを取るかという判断が求められる場面もありました。制作側としての経験や技術を活かしながらも、お二人の持つ想いを損なわず、なおかつ印刷物としての完成度を保つ必要がありました。そのバランスを取ることは容易ではありませんでしたが、ただ要望を受けて形にするのではなく、相手の気持ちを受け止めたうえで最善の表現へ整えていくことこそ、私たちの役割であるとあらためて感じました。この新聞への想いが深かったからこそ、私たちもまた、よりよいものに仕上げたいという気持ちで粘り強く向き合うことができました。

完成した紙面を前にしたとき、私たちの中には大きな達成感がありました。それは単に良い印刷物ができたという満足感だけではなく、多くのやり取りを重ねながら、一つの想いを形にしていく過程そのものに意味があったと感じられたからです。特に、納得していただける形にたどり着けたことは、私たちにとって非常に大きなことでした。丁寧に向き合っていただいたからこそ、私たちもよりよいものを目指して粘り強く取り組むことができ、最終的に完成した「THE WEDDING TIMES」には、表面的な美しさだけではない、あたたかな温度が


梱包

宿ったのではないかと思っております。

できあがった新聞をお二人に渡した際に心から喜んでくださったことは今でも忘れられないですし、私たちには何よりの励みとなりました。制作の過程には多くの調整がありましたが、その一つひとつが、大切な節目にふさわしい新聞をつくるための時間だったのだと思います。

印刷物は、目に見えるものとして残り、時間が経ってもその時の気持ちを思い返すことができます。今回のウェディング新聞は、まさにその価値をあらためて教えてくれる存在となりました。

また、この作品は決して誰か一人の力でできあがったものではありません。企画を考える者、原稿を整える者、紙面をデザインする者、そして印刷現場を担う者、それぞれが自分の役割を果たしながら、ひとつの方向を目指して積み上げていきました。途中には悩みや迷いもありましたが、そのたびに社内で考え、支え合い、より良い形を探り続けたことが、最終的な仕上がりにつながったのだと思います。今回の受賞は、そうした日々の地道な仕事の積み重ねが、一つの作品の中にしっかり表れた結果であると受け止めております。

さらに今回の経験は、私たち日本新聞印刷にとって、新聞印刷の可能性をあらためて見つめ直す機会にもなりました。ただ情報を世の中に届けるだけではない、紙ならではの価値、その独特な感触、インクの匂い、なつかしさにあたたかさ、そして手元に残り続ける存在感、これらは新聞の大きな魅力です。新聞という形式は、つくり手が表現したいこと、込められた想いや記憶を形として残すことにも適しています。今回のウェディング新聞は、その力を改めて私たちに教えてくれました。

私たちは今回の受賞を、大変ありがたく受け止めるとともに、この作品づくりを通して得た学びを大切にしたいと考えております。相手の気持ちにどこまで真摯に寄り添えるか。丁寧な調整を重ねながら、どこまで納得のいく形に近づけられるか。そして、技術だけでなく、その先にある感情や記憶まで見据えて印刷物をつくれるか。今回の新聞制作は、そのすべてを私たちに問いかけてくれました。当事者お二人の新聞に対する丁寧な思いがあったからこそ、私たちもまた、ものづくりの原点に立ち返ることができたのだと思います。

最後になりますが、このような貴重な機会をいただけたことに心より感謝申し上げます。そして何より、結婚という人生の大きな節目に、私たちの仕事が寄り添うことができたことを、とてもうれしく思っております。今回の受賞を励みに、人の心に残る新聞をつくるという気持ちを忘れず、これからも誠実なものづくりを積み重ねてまいります。

GS800号～899号発行期間に入会された企業の皆様に

緊急アンケート!
激動の時代に入会した意義とは!?

GS 900号記念

緊急特別企画第一弾!～私にとってのジャグラ～

機関誌900号の発行を記念し、本号では「緊急特別企画第一弾!～私にとってのジャグラ～」として、GS800号から899号の発行期間に入会された企業の皆様を対象としたアンケートをお届けします。

2018年から2026年7月にかけての期間に、全国各地から合計128社が新たにジャグラへ入会されました。本企画では、「激動の時代に入会した意義とは!?」をテーマに、3つの質問に対する会員の声をご紹介します。

寄せられた回答からは、地域の垣根を越えた会員同士の交流や、情報交換の場としての価値、前向きに共に成長を目指す姿勢など、入会を通じて得られた様々な実感が語られています。

会員の皆様が感じる「ジャグラの魅力」や今後の組織への期待など、これからの活動の参考となる生の声を、ぜひご一読ください。

アンケート内容

1. ジャグラへ入会した理由は?
2. 入会前と入会後で、印象はどう変わりましたか?
3. これからのジャグラに期待することは?

2018年～2026年7月までのジャグラ入会数一覧

地　協	支　部	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	合　計
北海道	北 海 道	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3
東　北	岩 手 県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	福 島 県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	秋 田 県	0	1	1	0	1	0	2	0	1	6
関　東	山 梨 県	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
	神奈川県	0	2	0	0	0	0	1	3	0	6
	群 馬 県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
東　京	東 京 都	4	7	4	3	5	7	4	16	8	58
北　陸	新 潟 県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
東　海	愛 知 県	1	1	2	0	3	0	0	5	0	12
近　畿	京 都 府	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	兵 庫 県	1	0	0	1	0	0	0	0	3	5
	和歌山県	0	0	2	1	2	1	1	1	0	8
	大 阪 府	0	2	0	1	0	1	0	2	2	8
中　国	山 口 県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	広 島 県	1	0	1	0	0	1	0	0	0	3
四　国	徳 島 県	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	愛 媛 県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	香 川 県	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	高 知 県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
九　州	福 岡 県	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	鹿児島県	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
合　計		11	14	10	7	13	15	10	28	20	128





ジャグラで出会ったけやき出版さんとコンペをご一緒させていただき、見事受託!大学広報誌を合同制作しています。

株式会社フジコデザイン
代表取締役　サトウ藤子
東京都三鷹市
2025年4月入会

❶元々は武蔵野法人会で同支部であった「文伸」の川井さんから、ジャグラへの入会を勧められました。弊社はデザイン会社ですが、デザイナーも「モノづくり」を担う「一職人」であると思っています。東グラ全支部の集まる忘年会やイベントに参加し、深くジャグラを知っていく中で、不思議と「日本の印刷業界をもっと知りたい・支えたい」という使命感のようなものが生まれていたことが「入会のきっかけ」と言えるかもしれません。

❷最初は東グラのことしか分かっていなかったのですが、ジャグラは東京のみならず、全国の印刷関連業の皆さんと交流ができる会であることを知り、とても驚きました（モノづくりの未来を共に語り合える仲間がこんなにいるんだ!と感動したと同時に、とてもワクワクしました!）。また、母校の武蔵野美術大学の学生時代、毎年見ていた広報冊子を出版されていた、アトミさんとお話しできたのも、とても嬉しかったです。二代目、三代目と、事業承継をされている企業さんが多いのも、素敵だなと思いました。

❸ジャグラは東京だけでも、支部がとてもたくさんありますよね。とても古くからある会であるからこそ、その地域ごとで支部が分かれています。しかし、この50年、ここ20年、日々「東京」という街の地域ごとのビジネススタイルは、大きく変容していると感じています。特に直近ではコロナ禍もあり、リモートも増えている中、弊社も23区と多摩地域を中心に、神奈川や千葉方面など「地域」の枠組みを超えた案件も増えています。そのため、「支部」の枠組みを越境したイベントがもっと増えたら、さらに嬉しいな、と思っています。



社屋外観

株式会社塚田美術印刷
代表取締役　塚田大樹
秋田県秋田市
2020年入会

❶プライバシーマーク取得のため。

❷ジャグラへの熱い思いを持った方が多いと思いました。

❸先が見通せない不確実なことの多い世の中で印刷業界を盛り上げていくためには、各社がお互いに補完しあいながら課題を解決していくことが必要だと思うので、その支援をこれからもしてくれる団体でいてもらいたいです。



キッショウ株式会社
代表取締役　吉岡靖
山口県熊毛郡田布施町
2023年入会

❶メーカー様からのお誘いを頂き、入会させていただきました。



おすすめ商品：
小ロットパッケージ

❷入会するまではジャグラについて存じませんでしたが、入会後は、地域の垣根を越えて交流があり、会員同士のつながりが深い、とても親しみのある組織だと感じています。

❸人口減少や市場縮小が進む中、印刷業界は転換期を迎えていると感じています。こうした環境だからこそ、ジャグラの強みである会員同士のつながりを生かし、一社だけではなく、複数の企業が力を合わせながら新たな可能性を生み出し、業界全体で乗り越えていくような取り組みに期待しています。

有限会社　八木印刷所
代表取締役　八木　朱美
徳島県鳴門市
2022 年 6 月入会（たぶん笑）





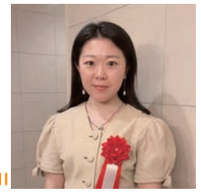
社屋外観

❶岡本前会長に「入れ」と（笑）。

❷入会前は「同業の集まりなんて必要ない」と思っていました。入会後は「同業の集まりって必要やな」と思うようになりました。同業者は商売敵だと思っていましたが、頼れる仲間でもありました（笑）。

❸せっかく「同業の集まりって必要やな」と思えるようになったので、これからもそう思わせ続けてください（笑）。

株式会社キノスアンドエムズ
代表取締役　小林秀美
東京都港区
2018 年 4 月入会





社屋外観

❶ビジネスの交流、学びの場、情報交換ができる場所が欲しかったため。

❷頼れる先輩達が沢山いて心強いと思うようになりました。

❸これからも刺激を貰える、楽しい仲間との学びの場であること。

有限会社鈴木商店
代表取締役　鈴木良哉
東京都板橋区
2018 年入会



❶フェイスが楽しそうだったから。

❷楽しいだけじゃなくて真面目に楽しい。

❸新しい印刷関連業界の形の進化。



トラック

有限会社エイチ・ティープログレス
代表取締役　染野ひろ美
東京都江戸川区
2019 年 12 月入会



❶印刷組合を探しており、当時の東グラの支部長に紹介いただきました。

❷ジャグラのことは全く存じませんでしたが、行事に参加させていただき、楽しい組織だと実感しています。特に、総会は各地協のカラーを垣間見れて、本当に楽しませていただいています。

❸各地協との連携を強化していただき、相互に仕事を依頼し合える関係性が築けたら…と思っています。

有限会社ねころのーむ
代表取締役　高久真澄
東京都新宿区
2018 年 10 月入会



❶当時、別の会で同じ会員だった文京支部の谷口さん（株式会社アイト）に誘われて入会しました。



携わってきました仕事の一部ですがポートフォリオとしてまとめました。

❷当初は支部会なども2ヶ月に１度であったり、コロナの時期に重なってしまったりであまり活動が活発でなかった印象がありました。私の積極性の問題もあったかとは思いますが。しかし、時が解決してくれるとはこのことかなと思います。最近は本当にみなさんの活躍が素晴らしいと感じています。大変、刺激を受けています。

❸印刷といってもいまや、同一の事業にとどまらないことは、あの大企業を見ていてもわかりすぎるほどです。関連企業の部門もかなり幅広くなってくると思います。いろいろな業界とも連携を深めてジャグラ、会員がより良い方向に行くことを願っています。

株式会社スカーレット
代表取締役　岡けい子
東京都板橋区
（現在：東京都千代田区麹町）
2025 年 4 月入会



❶昇文堂の田中千佳子さんのご紹介で入会させていただきました。単に仕事上のお付き合いにとどまらず、皆様から多くを学びながら、弊社の専門分野である不動産を通じて、少しでも印刷業界のお役に立てればと考えております。



実際に売買させていただいた工場の建物内で商談している風景を撮影させていただきました。

❷皆さんはとても気遣いのできる方ばかりで、お手本になる経営者さんが多いことに驚きました。そのような素晴らしいお人柄と高い志を持つ方々を育み、長年にわたり人と人とのつながりを大切にしてこられたのが、ジャグラという組織なのだと感じております。皆様の姿勢に深い敬意を抱くとともに、その一員としてご縁をいただけたことを大変光栄に思っております。

❸印刷業界をさらに盛り上げていっていただきたいです。私共といたしましては不動産という立場から経営の選択肢を広げるため、情報提供にも努めてまいります。印刷業界への理解を深め、皆様との交流を大切にしながら、印刷業界の発展に少しでも貢献できれば幸いです。

株式会社ミューズ・コーポレーション
代表取締役　木戸敏雄
新潟県新潟市
2026 年 4 月入会





手のひら句集

❶自費出版ネットワークでもお世話になっていたり、東京新宿支部でもお世話になっていたり、来年は新潟で全国大会が開催されるので、少しでもお手伝いができればと。

❷2017年に入会した新宿支部では、ジャグラの委員会で新しいことをいくつも体験させていただけたので、感謝しています。一方、地方のジャグラの会員は、あんまり上手に活用していないように感じました。

❸新しいことを楽しく学べる場であり、前向きな経営者と出会い、共に成長していく場であり、刺激を受けながら私も若さを保てる場であるといいなと思います。

プライバシーマーク取得20年の歩みと、信頼を守り続ける取り組み



東京・千代田中央支部

株式会社　研美社

個人情報保護管理責任者　日笠（ひかさ）良昭（よしあき）

当社の事業と個人情報保護

株式会社研美社は、戦後の大阪で社長の祖父が創業した「研美社印刷所」をルーツに、1986年5月に法人化し、印刷業を展開してきました。1997年には大阪・玉造に「PRINT & PAPER KENBISHA」を開設するなど、時代の変化に合わせて少しずつ事業の形を変えてきました。

社長の中田は2000年、キーエンス勤務を経て研美社に戻りました。当時、印刷業界は知らないことばかりでした。そうした中、インターネットの普及を受け、独学でホームページを制作し、年賀状や挨拶状印刷などのネット受注を始めました。やがて、その取り組みはプラスチックカードの製造・販売へと広がり、社員証やIDカードなど、個人情報を扱う仕事が増えていきました。それまでの印刷物とは異なり、社員証やIDカードには、氏名や顔写真、所属先など、お客様からお預かりした大切な情報が含まれています。もちろん、印刷会社にとって情報管理は以前から重要なものでした。しかし、個人情報を含むカードを日常的に製造する中で、より明確な管理体制が求められました。「きちんと管理しています」という言葉だけでなく、誰が見てもわかる仕組みをつくり、会社として責任を果たす。この事業の変化が、プライバシーマーク（以下、Pマーク）取得の大きなきっかけとなりました。



中田社長

当社は、メンバーズカードや診察券、社員証などの印刷を専門としています。中でも、社員証や学生証をはじめとするIDカードの製作は、収益を支える大きな柱です。IDカードには、氏名・顔写真・所属など、個人を識別する大切な情報が含まれます。そのため、お預かりした個人情報を適切に管理し、正確に印刷してお届けすることが重要です。安心してお任せいただくには、製品の品質と情報を扱う私たちへの信頼が欠かせません。当社では、この信頼に応えるため、個人情報の保護を日々の業務の大切な土台と位置づけ、社員一人ひとりが高い意識を持って取り組んでいます。

プライバシーマーク取得の経緯

当社がプライバシーマーク（Pマーク）を取得したのは、2007年4月です。そのきっかけとなったのは、IDカード事業への本格的な取り組みでした。

当時、IDカードの需要が高まりつつあり、当社でもその需要を取り込むための体制整備を進めていました。IDカードの製作には、設備に加え、個人情報を適切に扱う管理体制が必要です。社員一人ひとりが情報保護の重要性を理解し、責任を持って業務に取り組むことが求められます。

また、当時は個人情報の取り扱いに対する社会の関心が高まっていた時期でもありました。万一、個人情報の漏えい事故を起こせば、信用を失い、事業継続にも深刻な影響を及ぼしかねません。安心してご依頼いただける体制の整備と社員の意識向上のため、Pマーク取得は不可欠だと考えました。

2007年4月の取得から、2027年4月で20周年を迎えます。取得を出発点に、個人情報を大切に扱う意識を日々の業務で育んできました。

Pマーク取得がもたらしたもの

Pマーク取得直後に目に見える効果が現れたわけではありません。しかし、大手企業での個人情報流出が社会問題となり、情報保護への関心が高まる中、お客様からの引き合いを通じて、Pマークが発注先選びの判断材料になっていると実感しました。

当時は今ほど競争が激しくなかったこともあり、PマークはIDカード製作での差別化につながり、当社を選んでいただく後押しになったと考えています。また、大手企業からのお問い合わせも増え、Pマーク取得が取引の前提条件として確認される場面もありました。取得していたからこそ、商談につながったケースもあったと思います。

個人情報保護への意識が高まる中、近年のPマーク取得は、特別な強みよりも安心して取引するための基本条件と感じています。当社にとっても「選んでいただくための強み」から「信頼に応え続けるための土台」へと、意味合いが深まってきました。

経営理念と個人情報保護

当社の経営理念は「強く、楽しく、美しく」。「美しく」には、企業の社会的責任を大切にするという意味があります。大切な情報をお預かりする当社にとって、個人情報保護は、その責任を果たすために欠かせません。

また、行動理念には「個人情報は財産です。決して漏らしません」という言葉を掲げています。この理念を策定した当初から、個人情報を大切な財産として捉え、その保護に力を入れてきました。

こうした経営理念や行動理念、会社方針は、大阪・東京の各拠点で、毎朝の朝礼において全社員で唱和しています。

当社では、明るく元気な挨拶やお辞儀の実践を取り入れた朝礼を毎日行っており、これを「活力朝礼」と呼んでいます。社員が笑顔で一日をスタートし、互いに気持ちを合わせる大切な時間です。

朝礼では、一人ひとりが発表する機会を設け、日々の気づきや経験を共有しています。自分の考えを相手に伝え、仲間の話にも耳を傾ける。こうしたやり取りを通じて、お互いを理解し、人としても成長していく場にしたいと考えています。


朝礼

また、全員で声や動作をそろえることには、互いを意識し、気持ちを合わせるという意味があります。それぞれが担当する仕事は異なっていても、大切にする姿勢を共有し、一日の仕事へ向かうための時間です。

個人情報保護についても「個人情報は財産です。決して漏らしません」と毎朝唱和することで、お客様からお預かりする情報の大切さを日々確認しています。

声に出し、仲間と共有するこの積み重ねを、従業員一人ひとりの責任ある行動につなげていきたいと考えています。

なお、当社の活力朝礼は見学も歓迎しております。ご興味のある方は、ぜひ一度お越しください。

個人情報保護の具体的な取り組みと従業員教育

当社では、個人情報保護を理念や意識にとどめず、日々の業務における具体的な管理体制の整備に力を入れています。

お客様からお預かりした個人情報を含むデータについては、アクセスできる社員を制限し、適切な管理を徹底しています。また、製作工程では印字内容を照合・確認し、誤印字や情報の取り違えの防止に努めています。不要となったデータも適切に削除するなど、情報の取り扱いには細心の注意を払っています。

管理体制を確実に機能させるには、仕組みに加え、運用する社員一人ひとりの意識が欠かせません。

社員やパート従業員の入社時には、必ず導入研修を行い、個人情報保護が求められる背景や重要性を伝えています。

また、定期的な社内教育で、個人情報の適切な取り扱いと情報管理の知識を学び、意識の向上に努めています。近年では、SNSの適切な利用や機密情報の保護についても取り上げ、情報を取り巻く環境の変化にも対応しています。


製造部学習


個人情報教育

管理体制を運用するのは人です。日々の小さな確認と、一人ひとりの責任ある行動の積み重ねが、情報漏えいを防ぐ大きな力になると考えています。

毎朝の理念の唱和、継続的な社員教育、日々の具体的な管理の実践を通じて、個人情報を大切に扱う企業文化をさらに根づかせたいと考えています。

これからの個人情報保護

プライバシーマーク取得から、まもなく20年。インターネットやSNSの普及、サイバー攻撃の高度化、近年のAI技術の進歩など、情報を取り巻く環境と個人情報保護に求められる対応は大きく変化しています。

20年前の仕組みが今も通用するとは限りません。これまでの取り組みを大切にしながら、時代に合わせて管理体制を見直し、進化させる必要があると考えています。

一方で、技術や仕組みが進歩しても、お客様からお預かりした情報を、自分たちの大切な財産と同じように扱う姿勢は変わりません。

当社はPマークの取得と維持を通じて、情報保護の体制を整え、社員の意識を高めてきました。この取り組みは、お客様との信頼関係を築き、事業を支える大切な基盤となっています。

プライバシーマークの取得はゴールではなく、信頼を守り続けるための出発点です。

これからも、お客様の大切な情報と、当社に寄せていただく信頼を守り、安心して仕事をお任せいただける企業であり続けたいと思います。

第62年度・第四回理事会 議事録

ジャグラは９月９日、ニッケイビルならびにZoomで
第62年度・第四回理事会を開催しました。
理事会議事録抄録を報告します。

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件（承認事項）

【提案内容】

役員の派遣・スケジュールについて

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

（巻末スケジュールを参照）

第二号議案 事業と役割分担に関する件（承認事項）

【提案内容】

第62年度事業報告について

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、委員について下記追加の報告があった。他に発言はなく満場一致で承認した。

《委員の追加、訂正》

印刷技術委員会：小澤孝一郎氏（関東）、谷山和也氏（東京）、八木太郎氏（四国）

DXツールマーケティング委員会：杉田晴紀氏（富士フイルムビジネスイノベーションジャパン）

DXツールマーケティング委員会：誤）神山和彦氏（GMIS）→正）神山和彦氏（GMIS）

第三号議案 文化典開催地に関する件（承認事項）

【提案内容】

文化典開催地を左記のとおり決定したい。

・2028年 北海道地協
・2029年 東北地協

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第四号議案 全国協議会に関する件（承認事項）

【提案内容】

きたる11月6日・7日にKFCホールで全国協議会を開催する。実施内容、スケジュールについて提案する

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、タイムスケジュール、テーマ、構成については満場一致で承認した。1日目に実施するパネルディスカッションのパネラー4名については、後日候補者を選出することとなった。

その他、左記内容の意見・質問があった。

《主な意見・質問》

・原田会長：新規顧客を獲得するためのさまざまな営業方法を持ち寄り、営業の進め方を見える形にしたい。紹介や口コミ、人とのつながりなど、本人が意識せず行っている営業活動も含め、再現できる営業手法として整理したい。
・田中専務理事：ディスカッションでは営業手法をカード化したものを並べて、ゲーム感覚で営業手法を組み立てていく形式にしたい。
・原田会長：ディスカッションのパネラーとして、兵庫県支部の作本氏、福岡県支部の本村理事、高知県支部の西村氏などを候補として検討している。その他候補者がいたら推薦して欲しい。
・笹岡理事：営業手法は、官公庁への取引によって大きく異なるため、一つの営業方法としてまとめず、業態ごとの営業パターンとして整理してはどうか。
・佐藤理事：新規顧客を増やすために、自社では集客の部分を重視している。官公庁への訪問を繰り返して関係をつくり、見積相談などにつなげていくような営業方法もある。
・本村理事：自社の営業スタイルは何年もかけて関係を築いていく形式だが、そのような事例でも参考になるならパネラーを引き受けることは可能である。

第五号議案 入退会報告（報告事項）

【報告内容】

4月1日から8月31日までの入退会について、左記のとおり報告する。

《検討の経緯》

田中専務理事より、別紙資料に4月1日から直近の8月31日までの入退会リストが掲載されている旨、補足説明があり、今後も同様の形式で入退会状況の報告を行うこととなった。

入会日	支部	会社名
7月1日	鹿児島	（有）協和スクリーン印刷
7月1日	大阪	トキワ印刷（株）

退会日	支部	社名（退会）
7月3日	大分	（株）キュープリント大分
7月31日	愛知	マスミダ印刷（有）
7月30日	大阪	（株）ディプロス
8月25日	愛知	（有）日東印刷所
8月27日	大分	（株）エデンメディアワークス

第六号議案 その他に関する件

1．予算執行状況（報告）

笹井財政担当理事が、別紙の財務資料に基づき、下記説明・報告を行った。

・7月末時点で4ヶ月が経過しているが、収入全体の執行率は37．7％となっている。
・会費未納支部は北海道、青森、長野、富山、石川、奈良、岡山、山口の8支部で、北海道・岡山・山口は今月中の入金予定となっている。
・熊本支部は地震の影響により今年度の会費を免除している。
・ジャグラショートカットはオンライン講習を継続する企業が多く、収入が予算を上回っているが、収支としては利益が出ている
・支出は委員会活動が本格化していないため、全体的に執行率が低い状況となっているが、各委員会は予算を使い切ることを目的とせず、予算内に収めるよう運営してほしい。
・マスターズは予算の87％をすでに執行しているため、下期の予算執行を見直したい。
・総務費は全国大会の費用により執行率が約50％となっている。
・7月末時点の流動資産は約6，700万円、負債は約600万円で、そのうち約400万円は実質的にゼロとなる性質のものである。
・今後の大規模修繕に備え、予算や資金の付け替え等について谷川理事と検討し、結果を報告したい。
・会費を100％回収しても現会員数のままでは予算執行率が約96％となるため、会員拡大に取り組んでほしい。

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、下記意見・質問があった。

《主な意見・質問》

・露木理事：地協会長として各県支部長に督促するため、未納状況や管理費の状況を把握できるようにして欲しい。
・田中専務理事：後日地協会長に各県支部の入金状況を共有する。
・笹岡理事：一般管理費の印刷費が執行率139．7％となっている理由を確認したい。
・田中専務理事：印刷費の内容について確認のうえ回答する。

2．令和8年熊本地震、令和8年8月千葉豪雨について

田中専務理事が熊本地震及び千葉豪雨への対応について、説明・報告を行った。

・熊本地震について、総額1，953，460円の義援金が集まった。
・原田会長及び田中専務理事が9月10日に熊本支部を訪問し、義援金の目録を渡す予定である。
・千葉豪雨について、会員企業1社が水没し、1階に設置していたオンデマンド機4台が一部故障したため、過去の事例を参考に災害見舞金10万円を支給した。
・大雨による被災状況は本部で把握しづらいため、各支部から自主的に被害状況を報告してほしい。
・災害見舞金の原資が減少しているため、積立について検討したい。

3．日本イラストレーション協会との連携について（報告）

田中専務理事が、日本イラストレーション協会との連携について、説明・報告を行った。

・日本イラストレーション協会と提携書を締結する方向で話がまとまった。11月6日の全国協議会に同協会にも参加してもらい、その場で締結式を行いたい。

4．ニッケイビル賃貸について

田中専務理事が、ニッケイビル9階の賃貸について下記の通り説明・報告を行った。

9階会議室にあった倉庫を撤去し、資料等を別の場所に移した。

・不動産会社を通じて9階の賃貸募集を開始しており、一般に賃貸して不動産収入を得たい。

5．SPACE-21 全国協議会ご協力のお願い

松谷理事および瀬尾理事が、11月21日開催のスペース21全国協議会について、協力を依頼した。

6．地協報告作成のお願いについて

田中専務理事より、全国協議会2日目に地協報告は行わず、書面による報告となったため、各地協会長に報告書の作成をお願いしたい旨、呼びかけがあった。

7．印刷屋さんのお仕事展実施報告

8．HOPE展実施報告

人財育成への支援を通じて



業界の「未来」を創る。

日本プリンティングアカデミー後援会

会員募集中

50会員突破！

当後援会は、次世代を担う印刷関連産業人の「教育」と「成長」の支援を目的とした会です。私たちは、印刷業界に特化した教育機関であるJPAへの支援を通して、印刷業界で活躍できる次世代の人財育成をサポートしています。また、本会が会員同士の新たなビジネスネットワークの構築・ビジネスモデルの創出のきっかけになればとも考えております。
印刷業界の「未来」を創る＝人財育成の支援のために、ぜひ本会にご入会いただけますようお願い申し上げます。



年会費

法人会員 30,000円
個人会員 10,000円

入会特典

JPA主催セミナーの割引

JPAが主催する社員向けのセミナーが、特別価格でご利用いただけます。新入社員～管理職者向けまで企業の人財育成戦略に合わせた各種研修が受講できます。
※詳細についてはお問い合わせください。

入会方法

右のQRコードを読み取っていただき、入会申込フォームに必要事項を入力のうえ、お申込みください。申込が確認でき次第、事務局よりご連絡いたします。

日本プリンティングアカデミーとは？

1978年に、共同印刷株式会社をはじめとする業界関連企業からの支援で創立された、東京都認可の専門学校・Off-JT教育機関です。創立より、「印刷業界の事業革新と社会的価値向上に貢献できる人財を育成する」を教育理念に掲げ、これまで約1,000名以上の卒業生を輩出しています。また、Off-JT教育機関として年間200名を超える社員の研修も行っています。

お問い合わせ　電話　03-3811-2734　後援会事務局　中村まで　平日 9:00 ～ 17:30　メール　koenkai@jpa.ac.jp　※件名に「JPA後援会」とご記入ください。

印刷業界の人財育成なら当校にお任せください

専門学校

「今」の印刷業界で働くために必要な知識・技術を総合的に学べます。

―プリント・コンテンツ学科（1年制）
―メディア・コンテンツ学科（2年制）

企業研修

実機を使いながら学べる業界特化型研修で、企業が抱える人財育成における課題を解決します。

―ベーシック研修　―カスタマイズ研修
―業務別講座



入学者＆受講企業募集中

学校法人 日本プリンティングアカデミー
〒112-0002 東京都文京区小石川4－13－2　平日9時00分～17時30分

電話　03－3811－2734　FAX　03－3811－3557
メール　info@jpa.ac.jp　印刷　専門学校

本誌1月号 新年名刺広告大募集 申込締切12.9(水)

ジャグラの機関誌『グラフィックサービス』では、1月号誌上において恒例の新年名刺広告を実施します。
なお、地協・支部よりの出稿につきましては、掲載料金が割引になりますので、ぜひご利用ください。

◎掲載料金
1コマ／縦組 60×42ミリ　￥8,000（税込￥8,800）→ 支部・地協 ￥5,000（税込￥5,500）
2コマ／横組 60×87ミリ　￥13,000（税込￥14,300）→ 支部・地協 ￥10,000（税込￥11,000）

◎申込方法　本紙に必要事項をご記入の上、下記宛にファックス（または郵送）してください。

グラフィックサービス㈱
代表取締役社長 日本太郎
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7の16
ニッケイビル7階
TEL 03（3667）2271
FAX 03（3661）9006

標準パターン見本

グラフィックサービス㈱
代表取締役社長 日本太郎
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 ニッケイビル7階
TEL 03（3667）2271　FAX 03（3661）9006

「グラフィックサービス」新春名刺広告申込書

申込日 2026年　月　日

社名	フリガナ	担当者名	フリガナ
住所	〒		
Tel	Fax	E-mail	
体裁	□1コマ　□2コマ	□前年通り（既出稿者） □標準パターンでOK（新規出稿） □版下データ支給（独自デザイン）	←修正のある場合は前回版下に赤字を入れ、貼付してください ←新規申込みの場合は、下記枠内に原稿をご記入ください ←本申込書とデータをメール添付にてお送りください

広告原稿はこちらにご記入ください→

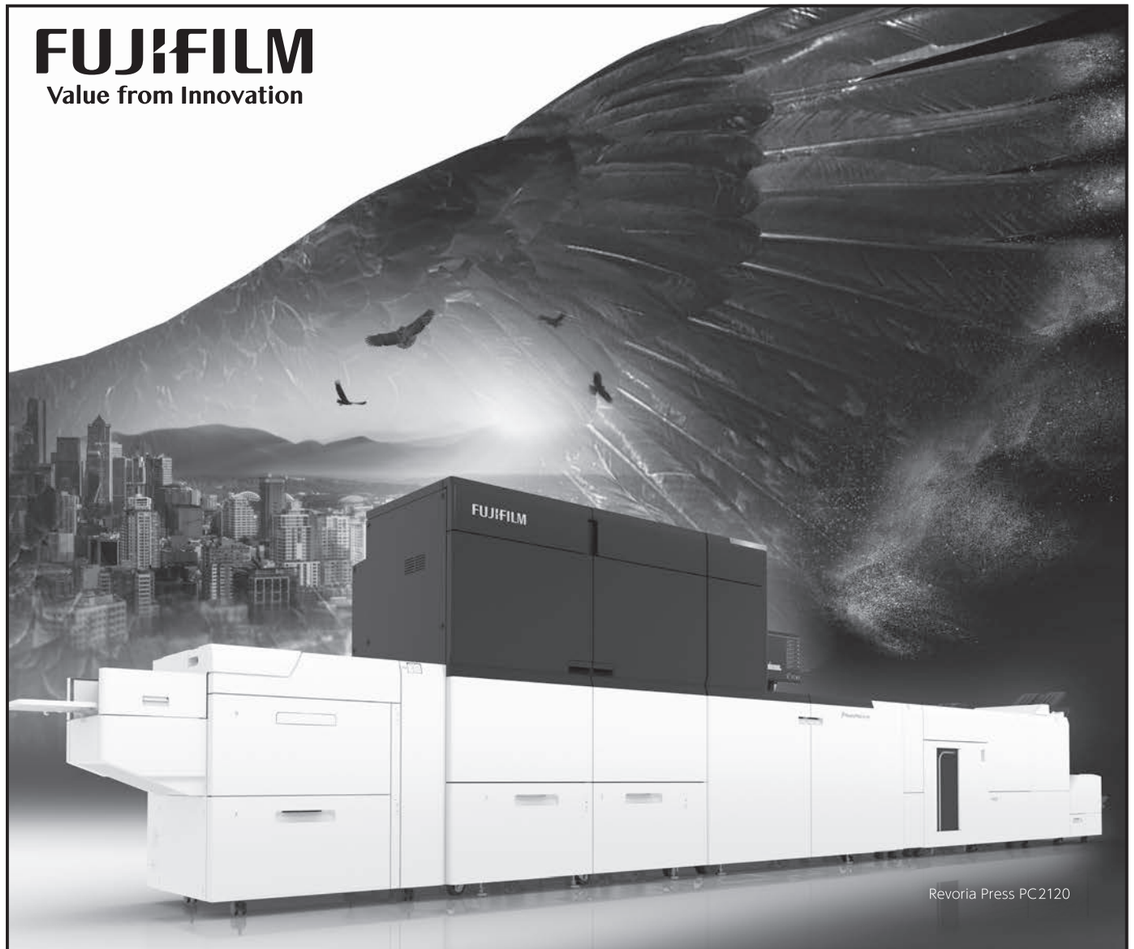
上記、標準パターンで申し込む場合は、右枠内に原稿をご記入ください。

連名、本店/支店、Web、ロゴ使用等、独自デザインをご希望の場合、完全版下データをご支給ください。（PDFデータでお願いします）

社　名
肩書き・氏名
住　所　〒
TEL
FAX

【申込先】 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会　名刺広告係（笠原）
〒103-0001　東京都中央区日本橋小伝馬町7-16　tel.03-3667-2271　fax.03-3661-9006
※版下データはメール添付にて　k_kasahara@jagra.or.jp　宛にお送りください

FUJIFILM
Value from Innovation



Revoria Press PC2120

Revoria Press™

信頼性と創造力で、ビジネスの新たな地平を拓く

Revoria Press シリーズは、
プロダクション・プリンティングの領域で積み重ねた信頼性と
これまでにない付加価値を導く創造力で、
ハイエンドのプロフェッショナルからオフィスまで、
お客様のビジネスの成功に向かってともに進みます。



下からRevoria Press EC2100S / EC2100、
Revoria Press SC285S / SC285、Revoria Press E1 series

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 TEL:03-6271-5111 (代表)
http://fujifilm.com/fb

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社
〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル TEL:03-6419-0300 (代表)
https://www.fujifilm.com/ffgs/ja

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、
富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria Press、Revoria Press ロゴは
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の
登録商標または商標です。

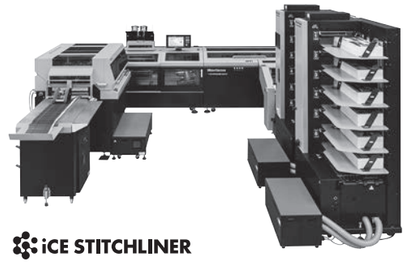
Horizon
Change the focus

Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム
iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求
多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

紙折機
iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上
ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

無線綴じ機
iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機
新世代 15 インチパネル HorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

三方断裁機
iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求
一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本　　社　〒101-0031　東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F　TEL.03-3863-5361(代)　FAX.03-3863-5360
東 京 支 社　〒132-8562　東京都江戸川区松江5丁目10-9　TEL.03-3652-7631(代)　FAX.03-3652-8083
京 都 支 社　〒601-8206　京都府京都市南区久世大藪町510　TEL.075-933-3060(代)　FAX.075-933-4025
福岡営業所　〒813-0034　福岡県福岡市東区多の津4-12-17　TEL.092-626-8111(代)　FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター　〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代)　FAX.022-782-3068



SHOWA

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和３年に幅弓之助が創業しました。
創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から 100 年に向けて今なおショーワの社員一人一人に DNA として脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21 世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ
SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動
○研修会　○工場見学　○総会・幹事会
○会報・メールマガジンの発行　○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで
SHOWA会事務局　TEL.03-3263-6149　FAX.03-3263-6149

株式会社ショーワ
プリントメディアの総合商社
http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田２丁目７番８号　TEL 03-3263-6141（代）　FAX 03-3263-6149



印刷業界の明るい未来をお客様と共に。

当社は社会と産業の基盤を支える企業活動を通じて、環境と調和し活力ある社会の実現に貢献することを目指します。

業務最適化ソリューション

自動化・省力化のご提案

詳細はこちら▶



生産現場をはじめとして、印刷業界でも大きな課題となっている人手不足に対応するため、ロボット導入による自動化・省力化についてパレタイザーやロボットアームなど自動化を実現する最新機器をご紹介し、貴社に最適な活用方法をご提案いたします。

印刷工程管理ソフト PRINT MANAGER

詳細はこちら▶



PRINT MANAGER Business e-Brain
印刷業務・経営支援パッケージ

販売開始以来、200 社以上の導入実績を誇る印刷工程管理ソフトウェア。受注から納品、請求までの情報を視覚化し、一元管理することで、経営状況を一目で把握可能にします。生産性や利益率の向上を実現する印刷業のトータルサポートシステムです。

印刷業界の人材採用をお考えの企業様
◇社員紹介　◇紹介予定派遣　◇人材派遣　◇業務委託などのご相談は…
モトヤ キャリアエージェント部へ
大阪 ☎(06)6358-9124／東京 ☎(03)3523-8719
人材派遣業 派 27-030254／人材紹介業 27-ユ-030174

印刷のソリューションプロバイダー
株式会社 モトヤ
大阪 〒530-0038 大阪市北区紅梅町２-８ ☎(06)6358-9131(代)
東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀４-５-５ ☎(03)3523-8711(代)
横浜・千葉・名古屋・京都・神戸・姫路・福岡
イメージキャラクター 琴音 愛



野口 聡の 雑学コラム 47

コラム：47都道府県の話（その 45：埼玉県）

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん○○は。ジャグラ東京・東グラ文京支部のアクティブ・野口です。

今回のテーマは埼玉県を取り上げようと思います。

私は千葉市に移住して 18 年。テレビや Youtube などでよく千葉 vs 埼玉みたいなのを観る事がたまーにあります。

両県民を煽る気は全くありませんが「私から見た埼玉の羨ましい所」を2つ程書いてみたいと思います。

その1：埼玉には「新幹線」がある。

これは上記の様な番組を観ていると大抵最初に取り上げられる話ですが、千葉県には新幹線の駅どころかレールさえ（茨城はレールは通ってます）も通ってません。私はライブで全国追っかけたりしますが、東京駅に出るにも1時間、羽田空港に出るにも2時間かかるのはさすがにしんどい。「成田空港があるじゃん」というお声もあるでしょうが特に東北方面に行くには LCC どころかフライトそのものがありません。なので東北・上越・長野・北陸新幹線が通る大宮駅のなんと羨ましいことか。私は実家が福島・会津なので行くとなると東北新幹線になってしまうから猶更です。

その2：埼玉には「山・国立公園」がある。

こんな書き方をすると何ですが、千葉県は日本で一番平均標高が低い都道府県として知られております。その数字 45 mは大体15階建てのビルの高さに相当する位です。そんな千葉県ですので最高峰の愛宕山でさえ 408 mしかありません。そんな千葉県、実は現在の時点で県域が含まれる国立公園がありません。国定公園はありますがね。対して埼玉県には秩父多摩甲斐国立公園があります。「海なし県」と云われる埼玉ですが、山に関しては千葉よりもはるかに格上（と私は）だと思います。千葉には成田山がありますが埼玉・秩父には三峰山や御岳山があり、更に渓谷と川という組み合わせで考えるとやはり千葉より（養老渓谷はあるけれども）は埼玉の方がイメージが勝ちますよね。因みに埼玉県の最高峰は秩父にある三宝山（さんぽうざん・2483 m）です。

その3：埼玉には「山田うどん」がある。

これは私の個人的な想いなのではありますが（笑）。私のとっての手軽なうどんは本来丸亀やはなまるではなく山田うどんだったのです。今からおよそ 20 年程の前の話ですが私は趣味のクイズの為に栃木・小山まで月に 1 回通ってました。その際のお昼は決まって会場の近くにあった山田うどんでした。その時の天ぷらうどんとパンチ（要するにモツの煮込み）セットの組み合わせは史上最強と思ってました。現在私が車で会社まで通勤した際にその通り道に 1 箇所だけ山田うどんがあります。たまに寄ってみたくなる時もありますが今だとその量はもう無理かもしれませんね。今度天ぷらうどんだけでも食べに行こうかな。

さて 3 つほど私的な思いを書いてみましたが、皆さんの中ではこの勝負どう映ってますか?

さて、今回のお話はここまでです。今月もお付き合いありがとうございました。では今月の問題です。

問題 日本において陸上自衛隊の隊員が平時に駐在する拠点を駐屯地と言いますが、その区域内に駐屯地が1か所も存在しない唯一の都道府県はどこでしょう?

（正解は 29 ページ）



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP













東京リスマチック株式会社
総合サポート窓口 プリントデスク®
0120-269-132
E-mail: support@lithmatic.co.jp
受付時間
月～金 9:00～17:00(祝日を除く)
※受付時間外については翌朝営業日のご案内となります。
お急ぎの場合は営業中の店舗に直接お問い合わせください。
プライバシーマーク 16190016(11)
Lithmatic
https://www.lithmatic.net

JaGra Broadband Contents Service JaGra Broadband Contents Service JaGra Broadband Contents Service JaGra Broadband Contents Service JaGra Broadband Contents Service

データで見るジャグラBB

上半期ふりかえり
—— 半年で1,095回、
ジャグラBBは“学びの場”である！

ジャグラBB GO!

2026年度も折り返し地点。4～9月の半年間で、
延べ1,095回の番組が視聴されました。
半期のアクセスレポートを分析。明らかになったのは
「ジャグラBBが“学び・スキルアップ”の場として使われている」です。
上半期の歩みを、ランキングで振り返ります。

〔番組アクセス数の推移〕

月	番組視聴数	登録者数
4月	140	1,205
5月	102	1,206
6月	244	1,210
7月	203	1,213
8月	203	1,215
9月	203	1,218

夏以降は毎月200回前後で安定。登録者数は9月末で1,218名（4月比＋13名）になりました。端末はPCが約9割の傾向が続き（圧倒的にPC）社内研修・業務での視聴が中心です。

〔 上半期（4～9月）視聴ランキング TOP10 〕

順位	番組名	カテゴリ	視聴回数
1	映像で学ぶ印刷のすべて シリーズ（全11章）	教育と技術	349
2	信頼設計ビジネスマナー基本研修 2026年版（前・後・完結編）	教育と技術	65
3	宮城県支部セミナー「生成AI時代の印刷会社の戦略」	教育と技術	49
4	【アーカイブス】第25回 伸び行く軽印刷展 -ニーズに応えて、今キラキラ	ニュース	37
5	Photoshopベーシックトレーニング（全6章＋作例）	教育と技術	36
6	企業ルポ No.17：株式会社グッドクロス	経営	32
7	地域から生まれる グラフィックサービスの未来（三多摩）	経営	25
8	マイスターが伝授する「InDesign時短テクニック」	教育と技術	24
9	Let's ジャグラBB登録	ニュース	20
10	Illustratorベーシックトレーニング	教育と技術	15

※「映像で学ぶ印刷のすべて」「信頼設計ビジネスマナー」はシリーズ合計。

ミニ解説

首位は「映像で学ぶ印刷のすべて」シリーズ（延べ349回）。基礎から各論まで通して見られており、半期の視聴をけん引しています。

カテゴリ別では教育と技術が約6割を占め（ニュース14％、経営11％、セミナー8％、BBネットワーク7％）、BBが研修・スキルアップのツールとして定着していることがうかがえます。

一方、直近9月には新しい動きも。「Photoshopベーシックトレーニング」（36回）と「InDesign時短テクニック」（24回）が一気に上位へ。夏の〝印刷の基礎〟から、秋は〝現場のDTPスキル〟へと関心が移りつつあるようです。

広報委員 小澤の目線！

ジャグラBBを担当している小澤孝一郎です。

グラフィックサービスのリニューアルから5か月、過去の傾向を分析してきました。

びっくりしたのは閲覧の90%以上がPCからの視聴であることでした。逆に言えば、スマホでほとんど見られていないということでもあります。

一般的には動画は圧倒的にスマホでの閲覧が多いです。このスマホからのアクセスを拾うことができれば、ジャグラBBはもっと見てもらえるツールになる!ということです。

今ジャグラBBもリニューアルを検討しています。こちらの分析データをもとにさらに魅力的なジャグラBBにしていきたいと思います。

今月のおすすめ番組 委員が選ぶ

今月のカテゴリ：経 営

委員が1カテゴリずつ“イチ推し”を持ち寄る本コーナー。
今月は「経営」から、次の一手を考えるヒントになる2本を、委員の声とともにお届けします。

おすすめ 1
企業ルポ No.17：株式会社グッドクロス

推薦：松谷勝広 委員（東京・文京／株式会社松谷メールサービス）
カテゴリ：経営

ジャグラ会長・原田さんが率いるグッドクロス（東京都品川区）を訪ねた企業ルポ。会社の事業はもちろん、原田さんの人となりがよく伝わる一本です。少し前の動画ですが、だからこそ見えてくる経営の芯 —— 人の魅力が会社をつくることを、あらためて感じさせてくれます。



おすすめ 2
地域から生まれるグラフィックサービスの未来 ～共創で広がる三多摩の可能性～

推薦：谷山和也 委員（東京・文京／菁文堂株式会社）
カテゴリ：経営

地域とのつながりから新しい価値を生む〝共創〟の可能性を学べる講演。視点を変えてまず動き、そこで得た気づきを事業へ活かしていく —— その姿勢の大切さを、あらためて実感させてくれます。支部の講演会や地域イベントの事例が、会員相互の学びと次の一歩につながる。そんな手応えのある一本です。



▶▶ アクセスは「ジャグラBB」で検索、または各番組の二次元コードから。

SPACE-21 四国主催「第一回 藤田塾」開催

～四国発・協業と主体性が切り拓く印刷業界の新たな地平～

SPACE-21
副会長
近森 純一郎
有限会社近森謄写堂／高知県



9月12日、高知市の有限会社近森謄写堂にてSPACE-21 四国初の「第一回 藤田塾」が開催された。本稿では業界の現状打破に向けた戦略と「協業」の理念について語られた当日の模様をお伝えする。

■孤立から連帯へ：SPACE-21 四国が目指すもの

現在、四国を含む地方の印刷業界は、長年の過度な価格競争により、同業者同士が互いに疑心暗鬼に陥るという悪循環を抱えている。同業者でありながら顔も知らず、孤立を深めている企業も少なくないのが現状だ。特にコロナ禍を経て経営環境が悪化する中、誰にも相談できずに孤独に廃業を選択する経営者もいるという厳しい現実がある。こうした現状を打ち破るべく設立されたのが「SPACE-21 四国」である。会の発足にあたり藤田氏（香川一誠社）は印刷業界の負の連鎖を解消する絶好の機会と捉え、本年4月18日に約40名で会をスタートさせた。会員数は現在50名を超え、1年以内に100名規模への拡大を目指している。

藤田氏（以下同会顧問）は、日常の些細な案件でも気軽に電話で相談し合えるような、ざっくばらんな関係性を築くことの重要性を説き、紙業を含む同業者全体で支え合う「協業」の理念を強く訴えかけた。

■事例発表①：西村謄写堂の「断らない」強さと自主性

高倉社長と田中氏が登壇した西村謄写堂（従業員約110名、売上15億円）は、小ロット化で紙の出荷量がピーク時の3分の1に減る中、アニメ関連事業の好調等でコロナ禍でも増収を続ける。最大の強みは「どんな仕事も断らない」基本方針と社員の「自主性」だ。統合管理に縛られず出張も事後報告のみとする裁量の大きさが機動力を生む。この姿勢は、食品パッケージ案件で箱の印刷にとどまらず菓子の仕入れ・袋詰めまで丸ごと受注する逆転の発想に繋がり、多角化の原動力となった。加工能力をアピールする展示会「西村万博」の開催や、高倉氏の関東・関西でのリピート開拓と田中氏の県内深掘りという営業連携も見事に噛み合っている。

■事例発表②：三宮印刷の「下請け特化」による共存共栄

柿内氏が登壇した三宮印刷は、あえて「下請け」に特化する生存戦略をとる。20年前の現社長就任以降、過剰に見える設備を積極導入してきた。自社の利益追求にとどまらず、県内同業者が対応できない複雑な加工案件（プレミアム商品券等）を県内で完結させる「受け皿」となるためだ。直接営業を避けて下請けに徹することで軋轢を防ぎ、共存共栄を実現している。ここでも現場社員が自発的に機械操作を学び教え合い、工場全体の生産性を考え楽しみながら働く主体性が根付いている。

■藤田顧問からの提言：利益確保と厳格な数値管理

総括の藤田顧問は、一誠社の手法を引き合いに業界のコスト管理の甘さにメスを入れた。特に損紙（ヤレ）率の甘さから、儲かっているつもりで利益が薄い現状を指摘。一誠社では粗利を最重要視し、全社員がリアルタイムで業績を把握、赤字取引はシステムで自動排除している。顧問は「企業の最大の目的は従業員の給与を上げること」と断言し、どんぶり勘定から脱却して厳格な数値管理で利益を確保すべきだと説いた。

■おわりに：次世代へ繋ぐ関係性

両社の事例から見えたのは、社員の主体性と探求心、外注でも自社品質を高めようとする姿勢だ。こうした企業間協力には、先代が築いた交流の歴史と藤田顧問のようなキーパーソンが欠かせない。SPACE-21 四国では今後、見学や短期出向など人材交流を深める方針だ。懇親会でも熱い議論が交わされ、印刷業界の新たな一歩を実感させる一夜となった。



藤田顧問



懇親会

日印産連「2026 GP環境大賞等表彰式」開催

～株式会社文伸が「GPマーク普及大賞」オフセット印刷部門で大賞を受賞～

1. 制度創設20周年を迎えたGP認定制度と表彰式の開式

一般社団法人日本印刷産業連合会（以下、日印産連）は、10月14日、東京都千代田区神田神保町の出版クラブホールにて、「2026 GP環境大賞等表彰式」を開催しました。グリーンプリンティング（GP）認定制度は、印刷業界における自主的な環境配慮基準として2006年に創設され、本年で20周年の節目を迎えました。

式典の冒頭、主催者を代表して日印産連の大橋輝臣会長があいさつに立ち、日頃の環境配慮活動への理解と協力に対する謝意を伝えるとともに、「現在、GP認定工場は437工場に達し、GPマーク表示製品は累計で15億部を超えております。2025年からはグリーン購入法の役務・印刷基準にも明記され、社会的な信頼性は一段と高まりました。今後もクライアント企業の皆様とともにサプライチェーン全体での環境負荷低減に努め、持続可能な社会の実現に貢献してまいりたいと存じます」と述べました。

2. 本年度の受賞企業・団体一覧

表彰では、発注クライアントを表彰する「GP環境大賞」、認定工場を表彰する「GPマーク普及大賞」の各部門において、環境配慮印刷の推進に貢献した企業・団体へ賞状とトロフィーが授与されました。

賞区分	部門 / ランク	受賞企業・団体名
GP 環境大賞	ゴールドプライズ	日本航空株式会社
	一般印刷の部（大賞）	株式会社教育芸術社 株式会社ファンケル
	パッケージ印刷の部（大賞）	国分グループ本社株式会社
	一般印刷の部（準大賞）	株式会社熊本リビング新聞社 株式会社ホンダモビリティ南関東
	パッケージ印刷の部（準大賞）	有限会社味源 竹下製菓株式会社 チャコット株式会社
GP マーク 普及大賞	ゴールドプライズ	株式会社 KASAMA 株式会社北四国グラビア印刷 丸正印刷株式会社 六三印刷株式会社
	オフセット印刷部門（大賞）	宝印刷株式会社 株式会社文伸
	グラビア・シール・スクリーン部門（大賞）	株式会社巧芸社
	オフセット印刷部門（準大賞）	伊藤印刷株式会社 精英堂印刷株式会社
	グラビア・シール・スクリーン部門（準大賞）	賀谷セロファン株式会社
	製本・表面加工部門（準大賞）	株式会社シュウエイ 株式会社多田紙工
GP 資機材環境大賞	資材部門 / 機材部門	今年度は該当なし

3. 株式会社文伸がオフセット印刷部門で「大賞」を受賞

ジャグラからは、株式会社文伸（東京・三多摩）が受賞しました。同社は前年度の表彰式において「GPマーク普及大賞」オフセット印刷部門の準大賞を受賞しましたが、本年度は継続的な普及貢献が評価され、大賞となりました。

表彰式では川井伸夫社長が登壇、表彰状とトロフィーを受け取りました。同社の地道な取り組みは、全国の認定工場における優れた事例として評価されています。

4. スペシャルトークショーの開催

表彰式終了後には、「印刷と私」をテーマとするスペシャルトークショーが開催され、放送作家の小山薫堂氏とフリーアナウンサーの宇賀なつみ氏が登壇しました。



表彰を受ける（株）文伸 川井伸夫社長

キラ星ジャグリスト 会員企業紹介



東京文京支部

株式会社 アクティブ
代表取締役社長　野口 聡

所在地　東京都荒川区西日暮里１丁目27-1-101

月刊グラフィックサービスの新目玉企画である「キラ星ジャグリスト」、今月は今皆様が手に取っている広報誌の中でコラムを書いている私野口が簡単ながら弊社を紹介させて頂きます。コラム同様つたない文章ですが少しの間お付き合い下されば幸いです。宜しくお願いします。

1：会社の歴史

弊社こと株式会社アクティブは１９７５年（昭和50年）、私の父で現会長の野口淳が「有限会社野口紙化工」として東京都荒川区東日暮里で創業いたしました。父は元々印刷とは全く関係が無い貿易の会社で働いていたのですが、この時の知り合いの紹介等があり一念発起して脱サラをして会社を興しました。この時は平圧ラベル印刷機１台を所有し、これを父が動かして生産を行い、自分で納品するという状況で、小さい頃に父と一緒に梱包を手伝い、納品に行く為に車に乗っていた記憶は現在でも残っています。

ラベル印刷を中心として業績を上げ、昭和60年に元々工場として借りていた家屋の隣の土地が空いたのでそちらもお借りして工場の建て増しを行い、最初の倍の広さになりました。この時には印刷の機械も１５０㎜の平圧機２台・２５０㎜の大型平圧機１台・特殊印刷用の平圧機１台を所有してました。この時有限会社野口紙化工から営業部門を「株式会社アクティブ」として独立させて事業を進めることになります。

私自身は小さい頃から工場に出入りして機械や検品を手伝ったりして現場の雰囲気を肌で感じていましたが、大学に入ってバイトで書店員を４年半程続け大学は見事に中退、その後その伝手で参考書の出版社に入って2年程営業の仕事で東日本を飛び回り、結局身体を壊して退職。その後また伝手でもう１回書店のバイトを始め、このまま正社員になる予定でいたのですが、30歳の時に父の知り合いの社長に頼まれて印刷会社に入ってまたこちらの世界に戻って来ました。この時の仕事は納品と出荷管理で１日に２００個以上ある注文の品物を親会社に納品したり、地方への出荷の為の梱包をして佐川の集積所まで持って行ったりしてました。この会社も居心地が良くて４年ほどお世話になってましたが、父と母から「帰って来て」と言われ、２００６年に自社に戻りました。２年後の２００８年に母が逝去した為、それまでの営業・納品に経理・総務もプラスで行う事になりました。当時は結構忙しくバタバタしてた記憶があります。私が入社して直ぐに「野口紙化工」と「アクティブ」を一本化し「株式会社アクティブ」として事業を行っておりましたが、２０２２年（令和４年）、土地を借りていた地権者が高齢の為土地を売却するとの事で立ち退くことになり、これを機に現場が独立しました。私自身は隣町の荒川区西日暮里で印刷のブローカーとして一人で品物の手配・入荷・検品・出荷の仕事をしております。

2：ジャグラとの繋がり

私は東京グラフィックサービス工業会の文京支部に在籍し、多分18年くらいお世話になってます。お陰様で色々な職種の方々と交流させて頂いていますが元々印刷でもラベルの仕事がメインでオフ関係の印刷には関わっていなかった弊社がなぜ東グラに、しかも文京支部に?というお声もたまーに聞きます。最初に私をここに連れて来て下さったのは元文京支部長の渡辺さん（三盛社）でした。弊社とは仕事上のお付き合いがあったのですが、ある日「今、勉強会をしてるから顔出してみなよ」と言われお伺いした場所に居たのがこれも文京の元支部長をされていた生田さん・平原さん・山下さんのお歴々でした。その場の居心地が妙に気持ち良くて「文京支部においでよ」のお誘いで文京支部に加入したという経緯になります。

3：ジャグラにお世話になっている現在、そしてこれからも

加入した私の目からまず鱗が落ちた事があって、それは印刷及び印刷関係の業種の多さでした。その時点でラベルの仕事しか知らなかった私にとってカルチャーショックに近い感覚でした。「弊社で出来ないことでも支部のみんなに相談すれば何とかなるかも」この考えが出来るようになって受けられる仕事が格段に増えました。少し余談になりますが私は乃木坂46のファンでコロナ前には握手会やイベントにも参加し、推しのメンバーの誕生日を祝う「生誕祭」と云うイベントの実行委員も務めていました。その際に委員みんなで着たオリジナルTシャツや配布した缶バッジやポストカード、果てはオリジナルのティッシュケースまで私が関わった全てのノベルティグッズは文京支部の皆さんのご協力で出来たものです。最近でもメンバーの誕生日に頃には有志が地下鉄の乃木坂駅にお祝いのポスターを掲示します。その印刷も何件かは弊社で受けて田村さん（現支部長）の会社で印刷して頂きました。本当にありがとうございます。

今期から就任されたジャグラ・原田会長はジャグラに加入するメリットの1つとして「異業種との繋がり」を挙げています。現在自社で機械を持っていない弊社にとって協力頂ける仲間達は何にも代えがたい価値のあるもので、その繋がりのお陰で既存のお客様の新しい提案に応えられています。私に新しい価値観と仕事の幅をくれたジャグラ（東グラ）に感謝しつつこれからも沢山仲間を使っていけたら良いな、と思います。

最後になりますが、私は現在ジャグラ広報委員として皆様が今読んでいらっしゃる月刊グラフィックサービスにコラムを書いております。皆様からの「読んでいるよ」のお声がけに支えられておよそ5年に渡る現在のシリーズにもうすぐ区切りが付きます。これでコラム終了方歳と思っていたのですが、現在の東海林委員長のアツいお声がけで次のシリーズも書く事になりました。これも最後まで書き続けると5年強は続くことになるでしょう。これも偏に皆様からの反響のおかげであります。本当にありがとうございます。さて、書きたい事は大体書いたのでこの辺で筆を置きましょうか。お付き合い頂きありがとうございました。



版と型はこちらで保管



ロール検査用の機械



今年の分はちゃんと貼ってます



在庫の管理用の棚



特殊な材料は弊社から支給

令和8年熊本地震被災地レポート

原田会長が熊本県支部を訪問
支部に義援金を手渡す



2026年7月28日（火）に熊本地方で発生した令和8年熊本地震やそれに関連する爆発事故で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興、復旧をお祈り申し上げます。

ジャグラは発災後、間もなく九州地方協議会の土地協会長に九州地協会員の被災状況の確認と情報収集の依頼を行い、翌日には、原田大輔会長を委員長とする危機管理委員会を立ち上げて早々にジャグラの対応について協議しました。

29日時点での被災状況報告から宇城市内に本社を構える熊本県支部のシモダ印刷株式会社が建屋半壊の甚大な被害を受けたほか、熊本市内の会員も被害が出ていることが報告されたことを受け、賛助会員の皆様に復旧の協力を要請すると共に、義援金の募集、災害見舞金の支給を決定しました。

義援金は9月1日まで募集し、総額195万3460円が集まりました。ご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

本義援金をもって、9月10、11日の2日間、原田会長と田中の2名で熊本県支部を訪問しました。

10日はSPACE-21の松谷勝広代表幹事同席のもと、髙光正義熊本県支部長と森田守尚前支部長に面会しました。松谷代表が髙光支部長へSPACE-21のお見舞い金を渡した後、熊本県支部会員の現状をお聞きしました。

翌11日は髙光支部長のご案内で宇城市のシモダ印刷様を訪問しました。

シモダ印刷様では、下田史郎社長、業務推進グループの大和地洋平グループ長が出迎えたほか、熊本県支部員の髙田昭三様（合資会社髙田商会）、島田信裕様（株式会社大和印刷所）も同席いただきました。

発災当初、現場は作業中でしたが、幸いにして怪我人も無く、屋外へと避難することができたと言います。その後は停電、断水などがあり、本社工場ではなく、自宅の被災もあり再開までに時間を要しました。

私たちが訪問した際、印刷機は止まったままでしたが、加工ラインの一部、また制作を再開させ、出来るところから業務を行っている姿に皆さんのたくましさを感じました。

2016年の熊本地震の傷もようやく癒え、コロナ禍から経済が動き始めたところでの再びの震災による精神的ダメージは計り知れないところです。

厳しいながらも前向きに立て直していこうという下田社長の姿勢には心を打たれました。

一方で、建屋の状況としては、私たちが訪ねた時点で瓦礫撤去などはされているものの、見上げれば歪んだ天井から空が見え、足元はオフセット印刷機を設置できる地盤にも関わらずひび割れています。地震で動いたオフセット印刷機はそのままで、一部崩落した天井もそのままでした。

オフセット印刷機を直そうにも、現場の安全管理が確保できないため、作業員を送り込めず、建物を修復しようにもオフセット印刷機を移動しなければならないということで、行政からの支援の案内を見てから対応を考えるという状況でした。

このほかすでに復旧していましたが、ホープ印刷様では、オフセット印刷機2台が動き、一時生産をストップ。昭和印刷様も事務所内の棚が崩れるなどの被害がありました。

昨今、地震だけでなく、大雨による土砂災害や内水氾濫が全国各地で発生しています。いつ、どこで災害が発生してもおかしくない状況です。日頃の備えが会社や社員、そしてその家族を守ることにつながります。他人事ではなく、自分事としてもしもの備えを今一度、ご確認いただければと思います。

なお、熊本地震に際し、ジャグラ本部だけでなく、福島県支部の長瀬印刷様、石川県支部のスガノ印刷様から熊本県支部へのご支援をいただきました。誌面にて御礼申し上げます。



震災時のシモダ印刷





昭和印刷の震災時の状況



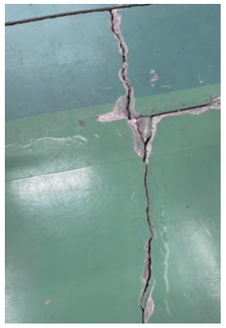
SPACE-21 からのお見舞金
（右から森田氏、髙光支部長、松谷代表）



シモダ印刷の工場内



発災時の状況を語る下田社長



ひび割れた足元



撤去した瓦礫など



崩落した天井



印刷機の上も天井が崩落している



はがれた壁もそのままに

業界の動き

イベント／ミマキエンジニアリング

「MIMAKIプリンティング・フェア2026」が開催されました

株式会社ミマキエンジニアリングが主催する「MIMAKIプリンティング・フェア2026」が、10月7日に東京・ベルサール汐留で開催され、全国から約80社のプリント関連企業が出展しました。ジャグラ会員企業も出展し、最新のデジタルインクジェット技術を活用した製品や加工技術を披露しました。

会場では、情報印刷株式会社（神奈川）によるアクリルグッズと特殊複合加工の提案をはじめ、東京リスマチック株式会社（東京）の各種SPツール提案や、株式会社ニューエッジ（東京）によるオリジナルグッズ・ノベルティ展示など、従来の紙印刷の枠を超えた多彩なアプリケーションが注目を集めました。各社が自社の得意分野や加工ノウハウを生かした商材を直接提案し、来場者と活発な商談を行っていました。

また同日、ベルサール汐留内の別会場において、ミマキエンジニアリングの新製品が展示されました。マスキング作業を不要にする「JFX220-2515」や、カメラ・ベルトオプション等で省人化を図る「UJF200-3042/6042」、蛍光カラー出力に対応したRIPソフト「RasterLink8」、サイングラフィック用大判ラミネーター「LAR-55/63」といったミマキの最新機器やソフトを展示、デジタルプリントの進化した生産性と表現力が紹介されました。



会場の様子

岩手県支部

第65回東北青年印刷人連絡協議会岩手大会へ「SPACE-21 東北」発足の足掛かりへ
～来賓として岡本前会長、松谷SPACE-21 代表幹事が来盛～

2026年9月19日（土）盛岡市のアートホテル盛岡で開催された「第65回東北青年印刷人連絡協議会岩手大会（大会実行委員長 戸来 一裕）」へ来賓として岡本前会長（原田会長代理として）と松谷SPACE-21 代表幹事をお迎えしました。その目的は東北六県の印刷業界人が多数集うこの大会を、SPACE-21 の地方組織として発足を目指している「SPACE-21 東北」立ち上げのきっかけにして頂くことにありました。両氏によるアピールタイムは懇親会時に設定しました。宴もたけなわになった頃合いを観て、私が音頭を取って岡本前会長と松谷代表幹事を壇上にお招きし、先ずは岡本前会長からやる気と根気を生み出す力強いお言葉でユーモアを織り交ぜながらお話しして頂き、続いて松谷代表幹事からはSPACE-21 の活動とその意義について、いたって真面目にお話しして頂き、締めには11月21日名古屋で開催されるSPACE-21 全国協議会のPRをされました。その後には会場から沢山の拍手と歓声を頂くこととなり大きな盛り上がりとなりました。お陰様で、今回の取組みがSPACE-21 東北発足までの東北地協としての今後の活動に道筋を付けることになったのではないかと実感することができました。



松谷代表幹事



岡本前会長

お詫びと訂正

26年度版会員名簿に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

124ページ ㈱ムサシ
誤：羽鳥雅孝
正：小野貢市

GS No.900 2026 11

月刊『グラフィックサービス』900号

■ 発行日　令和８年11月10日（毎月１回）
■ 発行人　原田　大輔
■ 編集人　東海林　正豊
■ 発行所
一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会　略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271　ファクス 03-3661-9006
ウェブ https://www.jagra.or.jp/

ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■ 編集部宛メール　edit@jagra.or.jp

◎ 企画：ジャグラ広報委員会
担当理事
戸来　一裕　岩手/㈱興版社
委員長
東海林正豊　秋田/㈱東海林印刷
委　員
佐藤　愛子　大分/㈱クリエイツ.
谷山　和也　東京/菁文堂㈱
野口　聡　東京/アクティブ
三宮　健司　高知/㈲三宮印刷
吉田　一城　東京/㈱文洋社
小澤孝一郎　山梨/㈱オズプリンティング
西谷　毅　東京/西谷印刷㈱
藤本　隆志　広島/㈱東洋ビジネス
井上　貴寛　福島/㈲三共印刷所
西岡　佐記　東京/㈱研美社
松谷　勝広　東京/㈱松谷メールサービス

◎ 原稿・編集・校正
田中　良平　阿部奈津子　長野未奈美
笠原賢一郎　賀山　良枝
以上、ジャグラ事務局

◎ 渉　外　田中　良平
◎ 広　告　田中　良平
◎ Web　阿部奈津子
◎ 動　画　笠原賢一郎

◎ 組　版　㈱文洋社（東京支部）
ＤＴＰ＝Adobe CC ほか
フォント＝モリサワ OTF/モリサワ BIZ+ ほか
※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎ 製版／印刷　㈲西村謄写堂（高知県支部）
ＲＩＰ＝FUJIFILM WORKFLOW xmf
ＣＴＰ＝Luxel T-6300（自現：富士フィルム XP-1310R）
刷　版＝FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機＝RYOBI 924D
インキ＝東洋インキ
用　紙＝三菱ニューＶマットＡ判 57.5kg

Copyright 2026 JaGra
禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています
※乱丁/落丁本はお取り替えいたします。

【雑学コラムお題の答え】　奈良県

事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

■10月の事務局日誌

1日　広報委員会（Web会議）
2日　Pマーク現地審査（栃木）→笠原
5日　SPACE-21幹事会（Web会議）
6日　日印産連広報部会
　　GP推進部会
7日　日印産連ステコミ→原田会長、田中専務
8日　作品展委員会（Web会議）
　　ジャグラコンテスト専門委員会議（Web会議）
9日　業態進化委員会（Web会議）
　　AKITA CONNECTION 2026（秋田）→原田会長
13日　Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
　　会員拡大委員会（Web会議）
14日　日印産連GP大賞表彰式
　　Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
　　印刷技術委員会（Web会議）
16日　全日本印刷文化典（沖縄）（2日目）→原田会長
17日　ぼうさいこくたい2026in鳥取（鳥取）→田中専務
18日　ぼうさいこくたい2026in鳥取（鳥取）→田中専務
20日　Pマーク現地審査（徳島）→田中専務、笠原
　　教育研修支援委員会（Web会議）
21日　DTPスキルコンテスト委員会（Web会議）
　　DXツールマーケティング委員会（Web会議）
　　新コンテストWG（Web会議）
23日　業態進化委員会（Web会議）
24日　関東地方協議会勉強会（ニッケイビル）
26日　正副会長会議（本部）
　　新年度事業方針発表会（本部）
　　賛助会員懇談会
27日　東京小森会（ホテルイースト21東京）→阿部
28日　作品展委員会（Web会議）
29日　Horizon Smart Factory 2026（滋賀）→原田会長、田中専務
30日　Pマーク現地審査（千葉）→長野

■11月のスケジュール

5日　広報委員会（本部）
6日　理事会・全国協議会・懇親会（KFCホール、第一ホテル両国）（1日目）
7日　全国協議会（KFCホール）（2日目）
　　自費出版文化賞表彰式（アルカディア市ヶ谷）
10日　Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
11日　Pマーク現地審査（秋田）→田中専務
12日　Pマーク現地審査（秋田）→田中専務
　　印刷技術委員会（Web会議）
13日　Pマーク現地審査（秋田）→田中専務
15日　マスターズクラブ（金沢）→田中専務
17日　日印機協総会（東京）→原田会長、田中専務
18日　Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
19日　Pマーク現地審査（大阪）→田中専務
20日　GCJ全国大会→原田会長
21日　SPACE-21全国協議会愛知名古屋大会→原田会長、笠原
24日　4団体懇談会→原田会長、田中専務
　　会員拡大委員会（Web会議）

■12月のスケジュール

3日　広報委員会（Web会議）
9日　正副会長会議（Web会議）
　　印刷技術委員会（Web会議）
　　日印産連ステコミ→原田会長、田中専務
15日　Pマーク現地審査（香川）→笠原
16日　Pマーク審査会・個人情報保護委員会（本部）
18日　Pマーク現地審査（宮城）→田中専務、長野

事・務・局・便・り

先日、PHPの脆弱性に関する情報が夜23時に公表されました。SNSでは「今夜はネットに接続するな」「銀行口座や証券口座から丸ごと資金が消える時代になった」など、物騒な情報が飛び交い、夜中に慌ててスマホを開き、利用サービスの二段階認証や生体認証を確認するはめに……。

翌朝は事務局でも、本部のWebサイトをメンテナンスモードに切り替えるなど、対応に追われる一日となりました。

今回の一件で、セキュリティ対策は何か起きてから慌てるのではなく、日頃からの備えが大切だと改めて実感しました。Webサイトは規模の大小にかかわらず、脆弱性への対応や定期的な点検が欠かせません。皆さまの会社のWebサイトも、日々の業務に追われて後回しになっていませんか？私自身も、改めて気を引き締めたいと思います。（阿部）

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

グラフィックサービス GS No.900 2026.11

RMGT-CSPI
ともに創る印刷の未来

RMGT Consortium Sustainable Printing Industry



RMGT-CSPIがSDGs達成をアシスト

印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/

● 発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 TEL 03-3667-2271 FAX 03-3661-9006 https://www.jagra.or.jp/ ● 年間購読料 13,200円（税込／会員の購読料は会費に含む）
● Copyright 2026 JaGra